

水と緑の森づくり事業による森林整備後 5 年経過の評価について

○平成 22 年度里山再生整備事業による森林整備後 5 年経過の評価(事務局案)

(1) 目指す森林の姿

地域資源としての木材等の利用、森林浴や環境教育の場の提供、生物多様性の保全、野生動物との棲み分けなど、森林の状態、生息・生育する動植物などを考慮し、地域ニーズを反映した多様な里山を目指す。

(2) 評価対象

平成 22 年度事業実施地区 20 地区・143.8ha (詳細別添一覧のとおり)

(3) 評価方法

里山管理利用計画で示された「整備の目的」の達成状況や地域住民等の活動状況等について、現地確認や実施地区からの聞き取り、アンケート調査を行い評価。

(4) 調査結果

いずれの地区においても、地域住民等の主体的な参加のもと、刈払いや再生竹の除去など里山の維持管理活動が行われ、ほとんどの地区で整備後の明るい里山が維持されており、地域住民は当事業に対しおおむね満足している。

また、一部の地域では、タケノコ堀や伐採木を活用したキノコ栽培、森林環境教育の場としての利用等、里山の利活用についても積極的に進められており、今後更に、活動の活性化が期待される。

(5) 評価結果 (事務局案)

平成 22 年度里山再生整備事業による森林整備後 5 年経過の評価

達成	ほぼ達成	未達成
----	------	-----

別紙の評価判定シートのとおり、各地区について判定基準に従い評価したところ、「達成」が 17 地区、「ほぼ達成」が 3 地区であった。

「ほぼ達成」と評価された地区については、森林の一部に手入れ不足が見られるが、地域住民等による里山の維持管理活動が行われており、また、今後も継続的に活動されるよう指導することとしている。

以上のことから、平成 22 年度里山再生整備事業は、「達成」と評価できる。

(6) 今後の対応

地域住民等による維持管理が行われているが、旺盛な成長を見せる再生竹等が繁茂し、整備後の状態の維持に苦慮している地区が見受けられることから、竹資源ネットワークの活動や里山リーダーセミナーの開催など、里山の継続的な維持管理活動や里山資源等の利活用を、今後も継続して実施していく必要がある。

里山再生整備事業評価判定シート

No.	市町村名	地区名	区域面積	整備の目的	評価項目				評価	
					森林の状態	活動の状況	活動の活力度	住民満足度	点数	達成度
					見通しの確保など、目的とする森林状態が維持されているか	地域住民等の参加により継続的な活動が維持されているか	多様な者の参加により活発に活動されているか	事業に対する地域住民の満足度		
1	黒部市	愛本	8.5ha	野生動物との棲み分け	○	○	△	○	9	達成
2	黒部市	前沢	6.0ha	野生動物との棲み分け	○	○	○	△	9	達成
3	魚津市	坪野	5.0ha	野生動物との棲み分け	○	○	△	△	8	達成
4	魚津市	小菅沼2	5.0ha	野生動物との棲み分け	○	○	△	○	9	達成
5	滑川市	山加積3	13.0ha	野生動物との棲み分け	○	○	△	△	8	達成
6	富山市	八木山	6.1ha	野生動物との棲み分け	○	○	○	△	9	達成
7	富山市	文珠寺2	4.1ha	野生動物との棲み分け	△	○	○	△	7	ほぼ達成
8	富山市	角間2	7.5ha	野生動物との棲み分け・景観保全	○	○	○	△	9	達成
9	富山市	安田	6.2ha	景観保全	○	○	○	△	9	達成
10	富山市	鶯谷	8.7ha	野生動物との棲み分け・景観保全	○	○	○	○	10	達成
11	富山市	葎原	9.2ha	野生動物との棲み分け・森林環境教育の場の提供	○	○	○	○	10	達成
12	高岡市	手洗野	9.0ha	景観保全	○	○	○	△	9	達成
13	高岡市	福岡町舞谷	4.0ha	景観保全	○	○	○	△	9	達成
14	氷見市	万尾	4.6ha	景観保全	△	○	○	△	7	ほぼ達成
15	氷見市	堀田	5.8ha	景観保全	○	○	○	△	9	達成
16	砺波市	東別所	10.0ha	景観保全	○	○	○	△	9	達成
17	砺波市	茶の木	8.0ha	景観保全	○	○	△	△	8	達成
18	砺波市	庄川町庄	10.0ha	景観保全	△	○	○	△	7	ほぼ達成
19	南砺市	蔵原	7.1ha	野生動物との棲み分け・景観保全	○	○	○	△	9	達成
20	南砺市	湯谷	6.0ha	野生動物との棲み分け、景観保全	○	○	△	△	8	達成

◆判定の基準

判定	判定基準							
	森林の状態	ポイント	活動の状況	ポイント	活動の活力度	ポイント	住民満足度	ポイント
○	・目指すべき森林の状態に維持されている	4	・参加者が増加傾向にある ・参加者がコンスタントに確保されている	2	・地域外からや幅広い世代の参加があり、活動が活発である	2	・大変満足	2
△	・森林の一部に手入れ不足が見られる	2	・参加者数が減少傾向にあり、活動が継続されるよう働きかけが必要	1	・地域内の単一の世代が中心に活動	1	・おおむね満足	1
×	・全く維持されていない	0	・参加者を確保できず、維持管理されておらず、今後も活動される見込みがない	0	・一定の参加がない	0	・やや不満、不満	0

※ 森林の状態については、整備目的を達成しているかを、センター職員が定点観測地等において確認。
 地域住民による活動の状況、活力度については、市町職員が各地区から聞き取りを行い確認。
 住民の満足度については、各地区に対しアンケート調査を行い確認。

◆評価の集計

達成度	評価基準	地区数
達成	8ポイント以上	17 地区
ほぼ達成	6～7ポイント	3 地区
未達成	5ポイント以下	0 地区